

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第58号

令和7年5月30日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言

安心安全な先進的医療

副病院長 井内 俊彦



例年よりも長く咲き誇っていた桜の花も散り始め、また新しい年度が始まりました。

私は1998年に千葉県がんセンターに赴任しましたので、もう28回もこの病院の庭に咲く桜を見てきたこととなります。その間、一人の脳神経外科医として、地域に求められる医療の提供を第一に臨床の現場で汗を流して参りました。

この病院での四半世紀を振り返ってみましても、医療の進歩は日進月歩で、新しい治療薬、新しい治療技術が次々と開発されています。そして私たちは、がん専門病院の医療者として、これらの恩恵が一人でも多くの県民に行き渡るよう、日々勉強し技術を磨いております。ただ、患者さん達にとっては、これらの先進的な治療を受ける大前提として、安心と安全の土台がしっかりしていることが重要でしょう。

私たちは腹腔鏡事故を経験し、医療安全の大切さ、臨床倫理の重要性を身をもって知り、その後病院をあげて、患者さんの目線に立った、安全で安心な医療の構築に取り組んで参りました。医療安全の道に終わりではなく、まだ至らない部分もありますが、安全安心な医療に向けて弛まぬ努力を続けて参ります。安全文化の先駆者である航空業界に目を向ければ、御巢鷹山の試練を忘れずに安全文化を突き詰めたことが、昨年年初の航空機事故での素晴らしい対応に繋がりました。ただ、そんな航空業界でさえ事故はゼロにはなっていません。私たちは、過去の教訓を忘れることなく、謙虚な気持ちで安全文化を根付かせていかなければなりません。

医療安全の構築を萎縮医療に繋げて不安視する人もいますが、私はそれは誤りだと思います。寧ろ、正しい医療安全の文化を根付かせ、安全を守るシステムを構築することで、患者さんが安心して医療を受けられることはもとより、医療者も安心して伸び伸びとその知識や技量をいかんなく発揮できる環境が醸成される、これが医療安全の目標だと考えます。

花の散った桜の木には新芽が芽生え、仁戸名の森も鮮やかな緑の若葉で覆い尽くされていくでしょう。私たち千葉県がんセンターも、地域の先生方、住民の皆様、今まで以上に信頼していただける病院に成長できるよう、スタッフ一同、気持ちを新たに、今年度も力を合わせて取り組んで参ります。

臨床の現場から

ハイパーサーミアを併用したがん治療を行っています

食道胃腸外科 主任医長/ハイパーサーミア診療部
部長 千葉 聡

八 ハイパーサーミアは、腫瘍局所の温度を39℃から45℃に上昇させる“熱を用いたがん治療”いわゆる温熱療法です。放射線治療やがん薬物療法と併用することにより、その効果を高める上乗せ効果が報告されています。特に、がん薬物療法では細胞障害性抗がん薬のみならず、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬の効果を高めることが報告されており、同じがん治療を行うにしても、ハイパーサーミアを併用した群の生存期間がより長くなるといった極めて特異的な働きを持つ治療です。

本邦では、1990年より健康保険適用で、目・脳・血液疾患を除く悪性腫瘍に対して適応があります。ハイパーサーミアは、体表などの体温上昇が得やすい部位で効果が高く、それは、頭頸部・乳腺・骨盤（婦人科と泌尿器科領域）と四肢です。また、免疫賦活作用を持つため、治療の初期、術前化学療法・術前化学放射

線療法・再発後のファーストラインの薬物療法との併用で有効性が高い傾向にあります。ここで重要なのは、ハイパーサーミア単独での効果を期待するのではなく、がん薬物療法の効果を高める一つ的手段としてとらえて治療を組み合わせることです。

千葉県では、当センターが唯一の導入施設であり、2020年10月28日よりハイパーサーミアが開始され、2025年3月31日までに288症例、3,000件を越す治療を行っています。症例の内訳は、膵臓がん、大腸がん、胆道癌、軟部肉腫、婦人科がん、食道癌、胃癌、乳がん、泌尿器がん、肺癌、肝細胞癌、頭頸部がんで、他臓器転移があり手術が困難なステージ4の症例や術後再発症例を多く治療しています。

ハイパーサーミアによる副作用はほとんどが軽微なもので、治療後に皮膚や筋肉の痛みが約15%、水泡形成などの熱傷（低温やけど）は5%ほど、3%に治療直後の脱水症を認めました。大きな合併症や長期にわたる副作用がなく、病状や体調に合わせて治療の強度を調節することが可能なため、メインとなる放射線治療やがん薬物療法の継続を妨げることなく併用が可能です。

出来るだけ多くの患者さんに有効な治療が提供できるよう、日々努めております。治療の希望がありましたら、当センターのホームページをご確認して頂き、受診を賜りたく思います。



図1.ハイパーサーミア機器；サーモトロン-RF8 GR Edition（山本ビニター社）。5世代目となり加温装置がソリッド・ステート化。オート・チューニング機構で適切な加温管理が容易となり、冷却性能の向上も図られています。



図2.ハイパーサーミア診療ガイドライン；南山堂より2023年4月に発刊されました。

地域連携室だより

がん患者さんやご家族同士での「交流会」について

患者総合支援センター 部長 米本 司

患者さんやご家族同士で分かち合える場として、千葉県がんセンターでは「交流会」を開催しています。がん経験者（ピア・サポーター）を中心に、参加された方同士でお話ができる場となっております。

交流会は、がん種を問わない「院内交流会」のほかに、部位別に「乳がん交流会」、「リンパ腫交流会」、「婦人科がん交流会」があります。千葉県がんセンターに通院中の方だけではなく、他の医療機関に通われているがん患者さんや家族も参加できます。会場は、千葉県がんセンター2階「にとな文庫」です。新型コロナウイルス感染症拡大の時期には、オンラインやハイブリット（会場とweb会議システム）で開催しておりましたが、参加者同士がよりお話しやすくできるように、現在は会場開催となっております。参加者が輪になってお話し、医療従事者ではなかなか気づくことができない入院中や治療中に役立つアドバイスを聞くことができます。たとえ問題は解決しなくても、同じ立場だからこそ分かり合えることや支えあえることもたくさんあります。交流会は、当院に通院中の患者さんが世話人となり開催しておりますが、運営には、がん相談支援センターの職員も協力しています。

各交流会は、事前予約は不要で、定期的に開催しております。地域の医療機関の皆様からも患者さんや家族に交流会の情報を提供して頂けると幸いです。詳しい情報は、千葉県がんセンター がん相談支援センターまでお問い合わせください。

もご指導ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

交流会名	開催日
院内交流会	3か月ごと 第4木曜日 13時から14時
乳がん交流会	2か月ごと 第3火曜日 13時から14時
リンパ腫交流会	3か月ごと 第1火曜日 13時から14時
婦人科がん交流会	3か月ごと 第4木曜日 13時から14時

にとな文庫



お問い合わせ：

千葉県がんセンター がん相談支援センター

月曜日から金曜日（祝祭日を除く） 午前9時から午後5時

電話番号 043-264-6801（直通）

webページ：

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/sodan/index.html>



治験に参加しませんか？と言われたら

治験臨床試験推進部長 三梨 桂子

治療の選択肢の一つとして治験を提示されたことはありますか？医師や治験コーディネーターが十分に治験について説明いたしますので、患者さんご自身の自由な意思で参加するかどうかを決めていただけます。わからないことは、遠慮せずに何度でもご質問ができます。治験への参加を強制されることはありません。治験への参加を断っても、その後の治療を受ける上で、患者さんの不利益になることは決してありません。患者さんの体調を第一に考えて対応致します。

治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

現在募集中の治験情報 R7/3月末時点での募集中試験数は32件

①食道がん	1件	④胆道癌	1件	⑦リンパ腫	5件	⑩非小細胞肺癌	2件
②胃がん	3件	⑤前立腺がん	3件	⑧多発性骨髄腫	2件	⑪頭頸部癌	2件
③大腸がん	3件	⑥乳がん	8件	⑨慢性リンパ球性白血病	1件	⑫子宮体癌	1件

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijyoukyou.html>



研究の現場から

原子間力顕微鏡(AFM)の紹介

研究所 発がん研究グループ 山本 清義

千

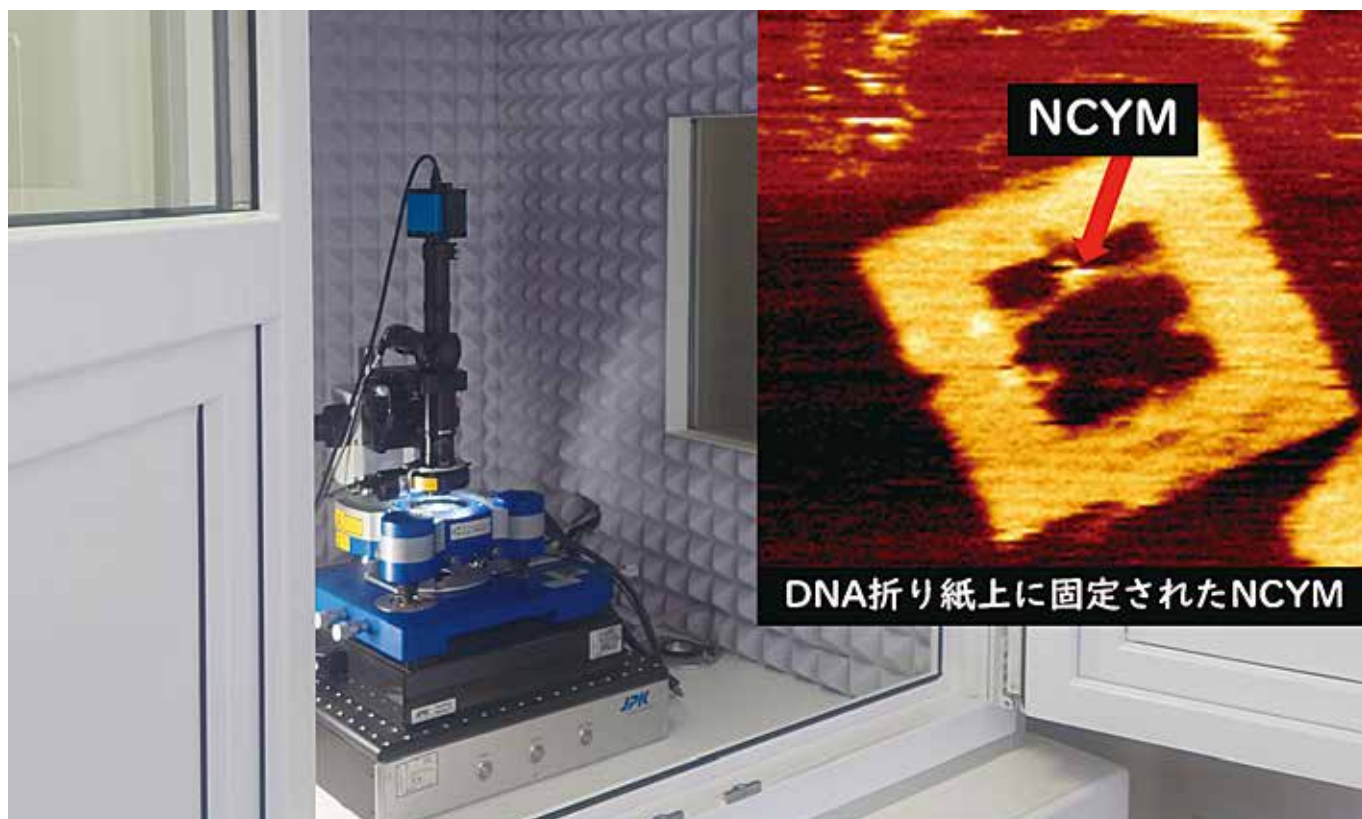
千葉県がんセンター研究所進化腫瘍学研究室は進化の視点からがんを理解し、治療法を開発することを目的として設立された研究室です。がんの研究のため、様々な機器を用いて研究を行っていますが、今回は研究室で使用している少し変わった顕微鏡、原子間力顕微鏡(AFM)について紹介します。

細胞の中ではDNAなどの核酸やタンパク質など非常に多くの分子が相互に作用しあっています。そのため、その相互作用を明らかにすることががんの発生や悪性化のメカニズムを知る手がかりとなります。しかし、一般的な顕微鏡では分子(数nm)の相互作用を見ることは困難です。というのは、顕微鏡は対象に光を当て反射・透過した光をレンズで拡大して観察を行うので、光の持つ波の性質によって光の波長(400~800

nm)より極端に小さいものを区別することは困難であるためです。一方、AFMは走査型プローブ顕微鏡と呼ばれる顕微鏡の一つで、探針(プローブ)で対象の表面をなぞるように走査を行うことで形状の測定を行います、探針の先端は非常に鋭くなっている(10 nm程度)ので、タンパク質の微小な凹凸をとらえることが可能です。

進化腫瘍学研究室の研究の対象の一つがNCYMという発がんに関わるタンパク質です。NCYMはヒトとチンパンジーでしか発現していない、進化的に見たときに非常に出現が新しいタンパク質です。そのため、他のタンパク質と似通った部分がなく、その機能や構造についてはあまり明らかになっていません。私たちはAFMを用いた観察によってNCYMとNCYM特異的に結合する分子の解析を試み、その分子が単にNCYMに結合するだけでなく、NCYMを活性化構造で安定化することを明らかにしました。

現在はAFMを用いて、NCYMの機能を阻害する化合物の探索を行っており、NCYMを標的とした治療薬の開発に繋がらないかと試みています。どうぞよろしくお願いたします。



研究室で所有する原子間力顕微鏡と解析画像

ご 報 告

第29回千葉県がんセンター例会

事務局 中村 飛鳥

令和6年11月9日(土)午前9時から「第29回千葉県がんセンター例会」をハイブリッド形式で開催しました。がんセンター内の大会議室をメイン会場とし、当日集合できない職員のためにWeb配信もあわせて行いました。

今回のテーマは、①メインテーマ「医療の質向上を目指して～患者サービスの新たな試み～」、②シンポジウムテーマ「今求められる連携について」、③自由演題の3つです。加藤病院長の開会の辞に続き、計7名の職員が日頃の取り組みの成果を発表しました。

厳正な評価の結果、第1位は看護局・吉田香保里さんの「クリティカルパス管理部会の活動報告」、第2位は外来治療部・桐木順子さんの「検査・治療部門間の連携～画像診断部の環境改善に向けた取り組み～」、第3位は研究所発がん制御研究部・上久保靖彦さんの「千葉県がんセンター研究所における『千葉県夢チャレンジ体験スクール』の取り組み」が選ばれ、後日表彰式を行いました。

また、①メインテーマ、②シンポジウムテーマで上位の評価を受けた3名は、2月に千葉県内の県立病院職員が集まって開催される「第24回千葉県立病院学術集会」に当院を代表して登壇することになりました。

次の例会は区切りとなる第30回になります。毎年改善を行ってきていますが、開催方法や開催日程等についてさらなる検討を重ね、より多くの部門の職員が参加できる例会としたいと思います。



センター例会：大会議室の様子

第24回千葉県立病院学術集会

事務局 中村 飛鳥

「第24回千葉県立病院学術集会」は、令和7年2月24日(月・祝)に千葉県教育会館の新館大ホールで開催されました。

午前11時45分に山崎病院局長のあいさつで開会し、メインテーマ「医療の質向上を目指して～患者サービスの新たな試み～」について、セッションIで5演題、セッションIIで4演題、セッションIIIで4演題、計13演題の発表がありました。

午後2時35分からはシンポジウムテーマ「今求められる連携について」の6演題の発表があり、続いてシンポジウムの全体討議が行われました。

当院からは、「第29回千葉県がんセンター例会」で選出された3名が登壇し、看護局・吉田香保里さんと患者総合支援センター・渡辺彩さんがメインテーマについて、外来治療部・桐木順子さんがシンポジウムテーマについてそれぞれ発表を行いました。

午後3時50分からは病院局表彰が行われ、寄附やボランティアで貢献いただいた方、長年功績があった職員等に対して、病院局長から表彰状の授与が行われました。

最後に今回の千葉県立病院学術集会の表彰式が行われました。吉田香保里さんの『クリティカルパス管理部会の活動報告』が高い評価を受け「人気賞」に選ばれました。

次回の学術集会は当院が当番病院となり企画・運営を担当することになります。会場の予約を済ませ、準備はスタートしたばかりですが、参加する皆さんにとって有意義な発表の場となるよう尽力していきたいと思っています。



学術集会：千葉県教育会館新館大ホールの様子

初診担当医表

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

TEL.043-264-5431 (代表) TEL.043-264-5633 (地域医療連携室直通) FAX.043-263-4075

2025年4月1日より

診療科	月	火	水	木	金
肝胆膵外科	岩立 陽祐	賀川 真吾	加藤 厚 石毛 文隆	柳橋 浩男	有光 秀仁
ハイパーサーミア	千葉 聡	千葉 聡	千葉 聡		千葉 聡
食道・胃腸外科	鍋谷 圭宏 (第1,3,5) 加野 将之 (第2,4) 外岡 亨	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	加野 将之 早田 浩明	鍋谷 圭宏 加野 将之 成島 一夫 桑山 直樹	加野 将之 天海 博之
消化器内科	傳田 忠道 三梨 桂子 鈴木 拓人 喜多絵美里 箕輪 真寿美	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 杉田 統 岡田 晃弘	三梨 桂子 中村 和貴 喜多絵美里 石垣 飛鳥 古賀 邦林	傳田 忠道 三梨 桂子 徳長 鎮 竹内 良久	須藤研太郎 中村 和貴 天沼 裕介 北川 善康 古賀 邦林
呼吸器外科	坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一
呼吸器内科	水野 里子 芦沼 宏典	新行内雅斗 芦沼 宏典		新行内雅斗 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山田 英幸 佐久間 結	佐久間 結	羽山 晶子 佐久間 結 吉村 悟志 (第1,3,5)	山田 英幸 山本 寛人	山田 英幸 佐久間 結 寺中亮太郎
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	鈴鹿 清美	田中 尚武	鈴鹿 清美 碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	田中 尚武
泌尿器科	小丸 淳潤 新納 潤	米田 慧	池原 哲郎	米田 慧 鈴木 一弘	小林 将行 山崎賢太郎
腫瘍血液内科	武内 正博 真子 千華	熊谷 匡也 辻村 秀樹 三科 達三	武内 正博 辻村 秀樹 菅原 武明 依田 夏美	熊谷 匡也 真子 千華 三科 達三	武内 正博 熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦 長谷川祐三	(担当医)	堺田 司 長谷川祐三
頭頸科	(担当医)	木下 崇 福本 一郎 三田 恭義		木下 崇 福本 一郎 三田 恭義	
整形外科	米本 司 鴨田 博人 木下 英幸	鴨田 博人 萩原 洋子		米本 司	米本 司 萩原 洋子 木下 英幸
緩和医療科	坂下 美彦		坂下 美彦		
核医学診療部			久山 順平	久山 順平	

電話
予約

●初診・再診予約(患者予約)

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-263-4071

●予約変更(患者予約)

月曜日～金曜日 午後1時～午後4時

043-263-4071

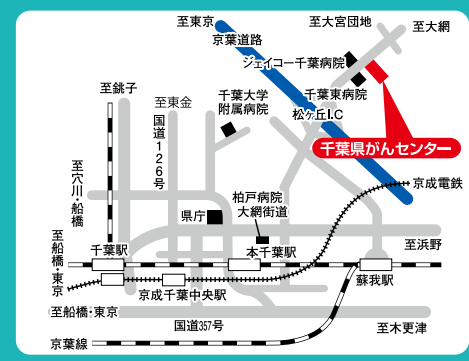
●医療機関からの直接予約

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-264-5633



- JR千葉駅から** 所要時間:約25分
 京成バス千葉イースト: 菅田駅、鎌取駅、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車
- JR鎌取駅から** 所要時間:約13分
 京成バス千葉イースト: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車
- JR蘇我駅から** 所要時間:約16分
 京成バス千葉イースト: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車
- 松ヶ丘I.Cから**
 大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター
 〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
 TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>